

ふれあい曾山医院

2009年1月号(第58号)

発行人：曾山 信彦

兵庫県淡路市志筑1391-9

Tel: 0799-62-5566

http://www.h6.dion.ne.jp/~soyama

悪性腫瘍



皆さんは悪性腫瘍いわゆる「がん」と聞いてどんなイメージを持たれますか？「がん」は心疾患、脳血管障害と並んで3大死因の一つに挙げられる怖い病気です。生活習慣や感染が原因で発生するものもあれば、健康に気を付けていても発生してしまうものもあります。



悪性腫瘍(がん)の特徴は①自律性増殖…正常な新陳代謝の都合を考えず勝手に増殖を続け、止まらない。②浸潤と転移…

「がん」について暗いイメージを持つ方も少なくはないでしょう。少し前までは『がん』不治の病(死)と連想されていた。今回は「がん」についてのお話しをさせていただきます。「がん」には発生する場所によって分類されます。大きくは造血器でできるもの(白血病や悪性リンパ腫など)、上皮細胞でできるもの(肺がん、乳がん、胃がん、大腸がんなど)、非上皮性細胞にできるもの(肉腫)の3つです。

③結腸(女性は①乳房②胃③結腸)となつていま

周囲にしみ出るように広がるとともに、体のあちこちに飛び火(転移)し、新しいがん組織をつくつてしまふ。③悪液質(あくえきしつ)…正常な組織が摂取しようとする栄養を横取りし、体が衰弱してしまふ。の3つがあります。良性の腫瘍(子宮筋腫など)は「自律性増殖」をしますが、「浸潤と転移」「悪液質」を起こすことはありません。また増殖のスピードも悪性腫瘍に比べるとゆつくりで、外科的に切除すれば再発はしないと言われています。国立がんセンターの最新がん統計によると日本人に多い「がん」の死亡数が多い部位は①肺②胃③肝臓の順にあります。また二〇〇一年の罹患数が多い部位は順に①胃②肺

サインをを見逃さず医療機

す。5年生存率でみると結腸、直腸、胃(女性は乳房、子宮、胃)の順に生存率は高く早期発見と治療が効果的と考えられます。難しく暗い話はこれくらいにして、「がん」対策について少し考えて見ましょう。一番望ましいことは「がん」にならないことです。喫煙、飲酒、過食や便秘など生活習慣を改善することで「がん」発生のリスクを下げることもあります。しかし残念ながら健康な生活を送っている人にも「がん」は発生してしまいます。そこで次に大事なことは早期発見、治療することです。まずは健康診断で定期的にチェックしてください。そして健診で正常だったとしても体がだるい、体重が減ってきた、食欲がないなどの体調の変化がある場合それらの

ご相談ください。(看護師 遠松美智子)

現在では医療の発展によつて治療できる「がん」が増えてきました。早期発見、治療によつて多くの命や生活が守られるようになりました。皆さんの周りにも「がん」を克服し社会復帰や元気に日常生活を送つておられる方がたくさんおられると思います。どうぞ気になる症状があれば遠慮なく



今回の題字は、読者の方にお書きいただきました。